

- 子育てしやすいまち・地域
- 安心して産み、育てられるまちを目指して
- 総合母子保健センターへの期待
- 子育て世代が住みたいと思うまちづくりを実現する

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部
事務局 地方創生総括官 山崎 史郎氏

『長年高齢者のことをやってきましたが、これからは、少子化対策にシフトします』

先日耳にした、ある政府高官のつぶやきです。高齢者を考えると同時に、新しい世代のことも視野に入れないと、日本は衰退し、滅びてしまうことへの警鐘でした。

現状

産科医の招聘という難問
↓
産科医療の現状と復活の鍵

未来

日本人絶滅の危機
↓
日本の人口が半減する!?

解決

安心して産み・育てられるまち

基本概念

国が向かっている方向は？
切れ目ない支援とは？
↓
子育てしやすいまち・地域

実現のヒント

結婚から妊娠・出産・産後
ケア・子育てまでの切れ目ない
サポート
↓
安心して産み・育てられるまちを目指して

提案

どうやって切れ間ない
支援を行うか？
↓
総合母子保健センターへの期待

実行

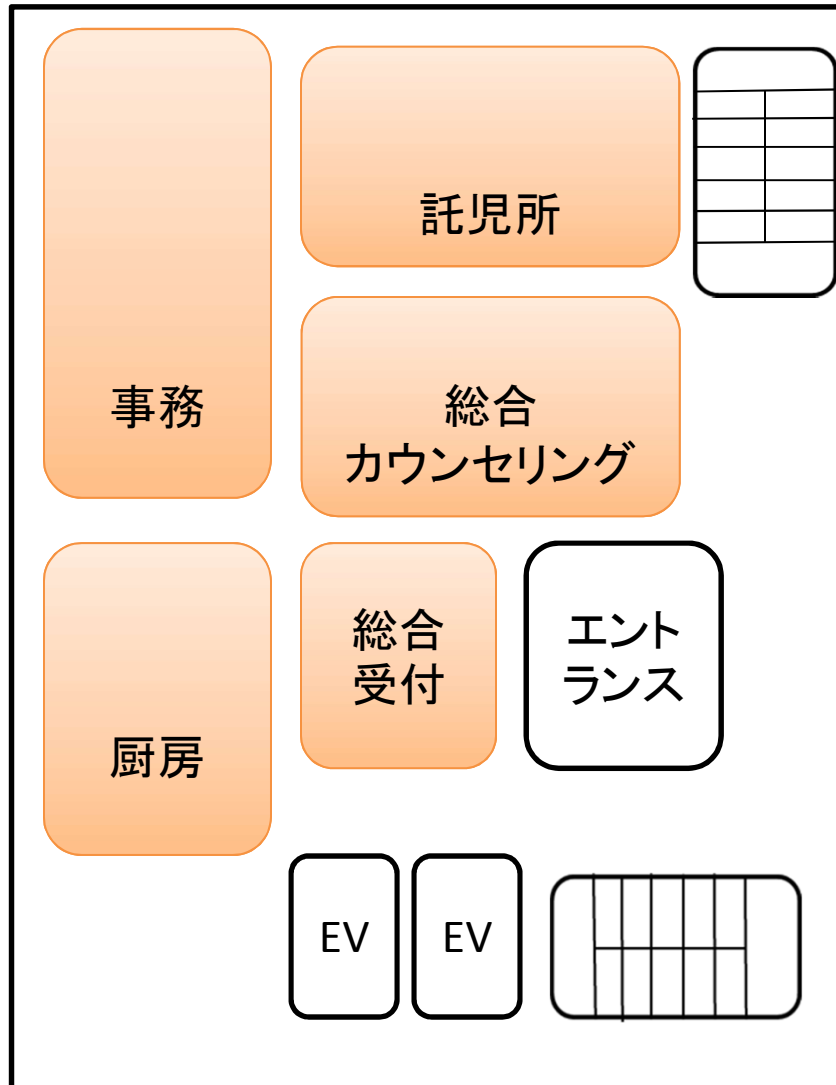
具体的にやっていくこと・お金のこと



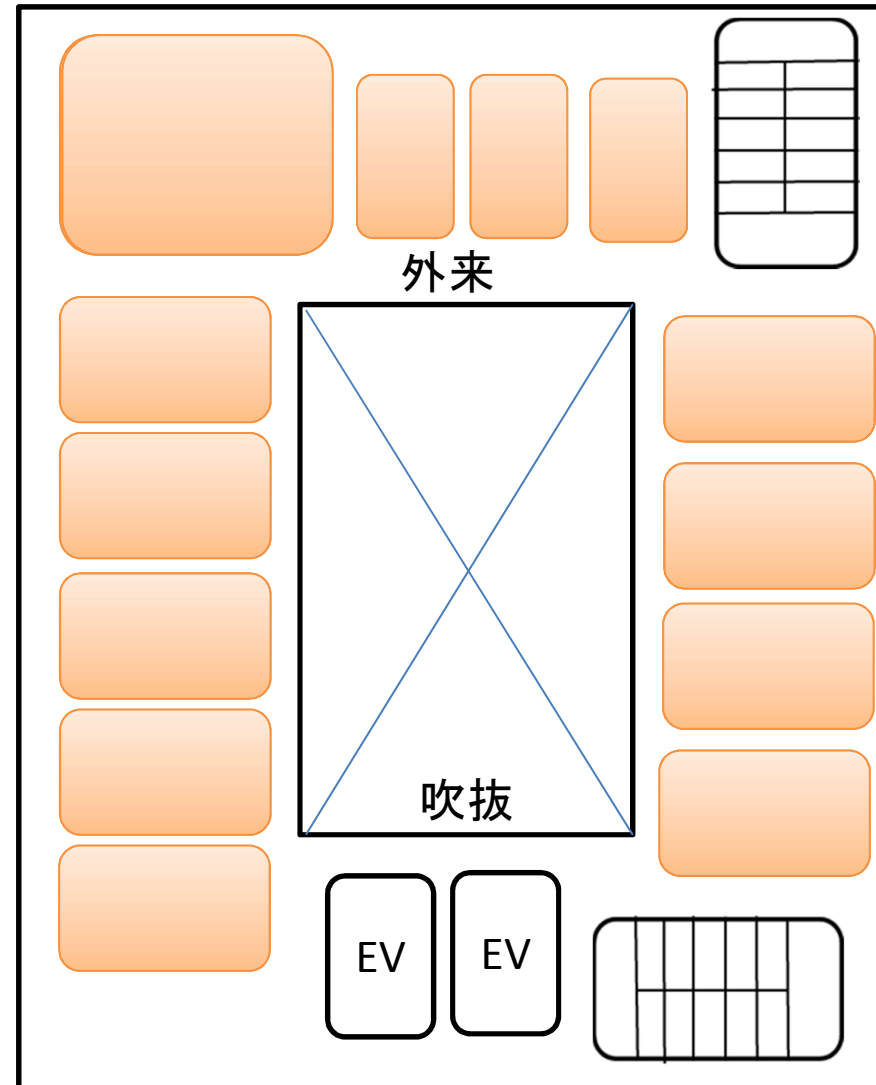
子育て世代が住みたいと思うまちづくりを実現するための
事業提案書の作り方

総合母子保健センター 4階建てレイアウト例

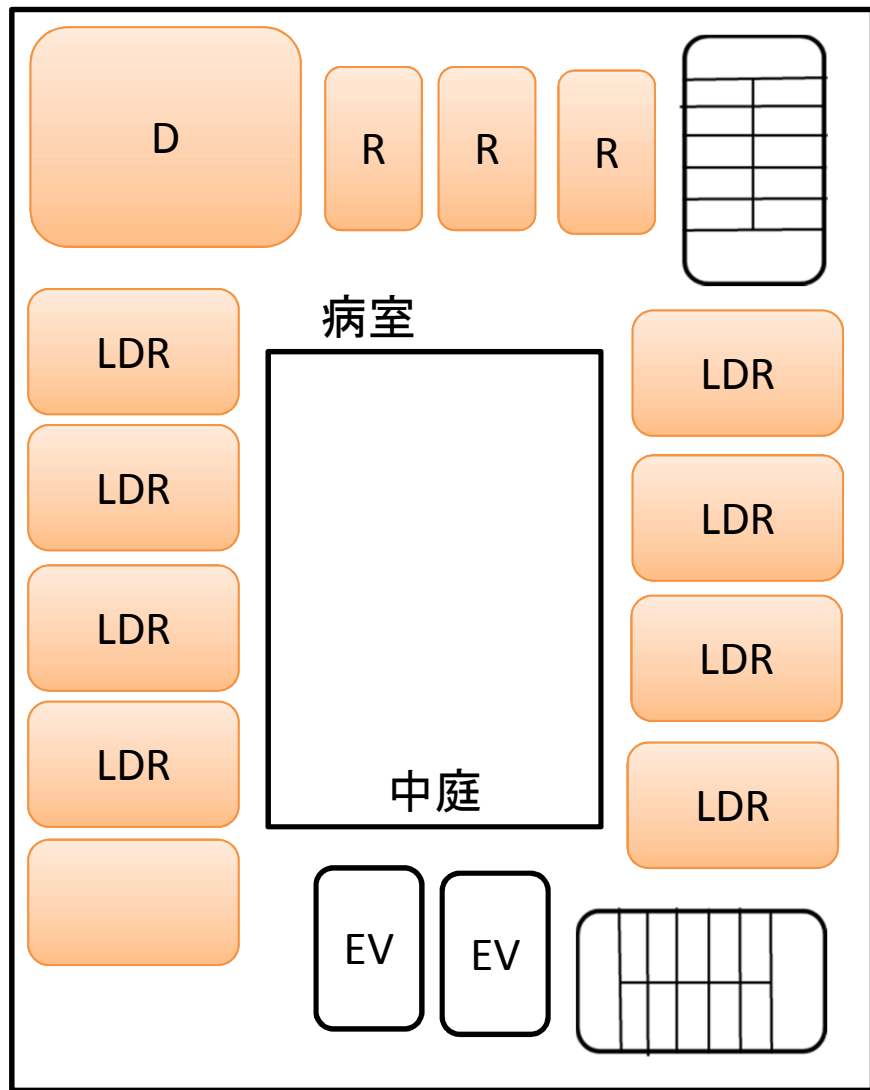
1階エントランス 500㎡



2階産科・助産師外来 450㎡



3階 病棟 450m²



4階 産後ケアハウス 450m²

